

# 柏原市立歴史資料館等運営協議会

## 資 料

日 時 平成 2 3 年 5 月 1 8 日（水）

午後 2 時～ 4 時

場 所 柏原市立歴史資料館研修室

## 目 次

- 1 平成 2 2 年度事業報告
  - (1) 歴史資料館関係
  - (2) 横穴管理運営関係
- 2 平成 2 3 年度事業計画
  - (1) 歴史資料館関係
  - (2) 横穴管理運営関係
- 3 施策評価結果について

## 1 平成22年度事業報告

### (1) 歴史資料館関係

#### (ア) 【常設展】

- a. 貸し出しや企画展開催に伴って、展示資料の入れ替えを実施。
- b. 高井田3-5号線刻壁画レプリカの立体展示をやめ、古代から近世の展示を大幅に変更。中家文書の常設展示を始める。(1月)

#### (イ) 【企画展】

例年どおり、年4回の企画展を開催。

- a. 「絵図に描かれた柏原の村々」(平成21年度事業)  
平成22年3月27日～6月20日  
観覧者数2,997名(個人2,489名、団体508名)
- b. 「群集墳から火葬墓へ」  
平成22年7月10日～9月5日  
観覧者数1,865名(個人1,703名、団体162名)
- c. 「大和川はどこへ」  
平成22年9月21日～12月12日  
観覧者数10,665名(個人1,836名、団体8,829名)
- d. 「ちょっと昔の道具たち～はこぶ～」  
平成23年1月8日～3月6日  
観覧者数2,149名(個人964名、団体1,185名)
- e. 「柏原ぶどう物語」  
平成23年3月26日～6月19日

#### (ウ) 【スポット展示】

「こんなモノをいただきました」をテーマに2ヶ月ごとに展示品を入れ替え。平成22年11～12月には鳥坂寺跡発掘調査の速報展を実施、平成23年2月末から4月後半にかけては、ひな人形を展示。

- a. 運搬用自転車(寄贈2006-4)、お櫃・こて(寄贈2006-7)  
平成22年3月～4月
- b. 駕籠(寄贈2006-5)、東野家文書(寄贈2006-8)  
平成22年5月～6月
- c. 謄写版一式(寄贈2006-9)、東野家文書(寄贈2006-8)  
平成22年7月～8月

e. レコード（寄贈 2006-10）、東野家文書（寄贈 2006-8）

平成 22 年 9 月～10 月

f. 鳥坂寺跡発掘調査速報展「再び灯る古代の光」

平成 22 年 11 月～12 月

g. 東野家箸・香木（寄贈 2006-8）、皇軍萬歳双六（寄贈 2006-10）

平成 23 年 1 月～2 月

h. 御殿雛、雛道具

平成 22 年 3 月～4 月

（エ）【文化財講演会】 定員 90 名

a. 平成 22 年 7 月 24 日（土）

「終末期群集墳の構造と分布」

講師 森本徹氏（大阪府立近つ飛鳥博物館総括学芸員）

「太子町田須谷古墳群とその周辺」

講師 江浦洋氏（大阪府文化財センター）

聴講者数 49 名

b. 平成 22 年 8 月 7 日（土）

「畿内とその周辺地域における古墳の終焉状況」

講師 渡邊邦雄氏（大阪市立咲くやこの花高等学校教諭）

「飛鳥千塚の終末期群集墳」

講師 笠井敏光氏（大東市総合文化センター館長）

聴講者数 71 名

（オ）【市民歴史大学】 定員 90～100 名

年間テーマ「古墳時代の幕引き」（文化財講座例会と兼ねる）

a. 平成 22 年 8 月 21 日（土）

「夾紵棺の被葬者について」

講師 猪熊兼勝氏（京都橘大学名誉教授）

聴講者数 92 名

b. 平成 22 年 9 月 4 日（土）

「終末期古墳と薄葬令」

講師 高橋照彦氏（大阪大学准教授）

聴講者数 78 名

c. 平成 23 年 1 月 8 日（土）

「終末期古墳と風水思想」

講師 来村多加史氏（阪南大学教授）

聴講者数 82 名

d. 平成 23 年 2 月 12 日 (土)

「大化の新政府といわゆる薄葬令」

講師 塚口義信氏 (堺女子短期大学名誉学長・名誉教授)

聴講者数 93 名

(カ)【体験教室】

a. 平成 22 年 12 月 5 日 (日) 定員 20 名

「しめなわを作ろう」 講師 横尾卓治氏 (市内雁多尾畑在住)

参加者数 26 名

b. 平成 23 年 2 月 6 日 (日) 定員 15 名

「わらぞうりを作ろう」 講師 横尾卓治氏

参加者数 14 名

(キ)【文化財講座】 年間 12 回 受講者数 63 名 (定員 60 名)

年間テーマ「古墳時代の幕引き」

a. 平成 22 年 5 月 8 日 「古墳時代の幕引き」(講義・安村)

b. 平成 22 年 6 月 12 日 終末期古墳を歩く・その 1・平尾山古墳群安堂  
6-3 号墳と平尾山 67-2 号墳 (見学会)

c. 平成 22 年 7 月 10 日 「群集墳から火葬墓へ」(講義と展示解説・安村)

d. 平成 22 年 8 月 21 日 市民歴史大学 a の聴講

e. 平成 22 年 9 月 4 日 市民歴史大学 b の聴講

f. 平成 22 年 10 月 9 日 終末期古墳を歩く・その 2・羽曳野丘陵 (見学会)

g. 平成 22 年 11 月 13 日 終末期古墳を歩く・その 3・磯長谷 (見学会)

h. 平成 22 年 12 月 11 日 終末期古墳を歩く・その 4・飛鳥 (見学会)

i. 平成 23 年 1 月 8 日 市民歴史大学 c の聴講

j. 平成 23 年 2 月 12 日 市民歴史大学 d の聴講

k. 平成 23 年 3 月 12 日 終末期古墳を歩く・その 4・桜井 (見学会)

l. 平成 23 年 3 月 26 日 「古墳時代はどのように幕を引いたのか？」(講  
義とまとめ・安村)

(ク)【古文書入門講座】 年間 10 回 受講者数 21 名 (定員 25 名)

国分村南西尾家文書の解読と解説

講師 藤本誉博・小橋勇介 (当館学芸補助員)

平成 22 年 5 月から平成 23 年 3 月まで 10 回開催。

(ケ)【博物館実習】

平成 22 年 8 月 21 日～29 日 実質 7 日間

大阪教育大学 1 名、阪南大学 1 名 計 2 名

内容 館内・館外施設の説明と見学、考古資料の整理、民俗資料の整理、  
文書史料の整理、写真の撮影・焼付け、スポット展示の実施

(コ)【職業体験】

平成 22 年 10 月 27 日～29 日 3 日間

柏原市立堅上中学校 2 年生 1 名

内容 発掘調査資料整理、スポット展示の実施など

(サ)【資料調査・整理】

- a. 国分本町・西尾寛一家（南西尾家）文書の調査。
- b. 中家文書の整理、仮目録作成。
- c. 国分村・吉村長策関係資料調査。
- d. 大県・山崎家ぶどう関係史料調査。
- e. 国分村・竹腰家所蔵頼山陽史料調査。
- f. マイクロフィルム撮影事業。平成 19 年度から実施し、22 年度は 2,000  
カットの撮影。柏原市古文書調査報告 1「柏元家文書」終了。調査報告 2  
「安尾家文書」に着手。

(シ)【所蔵・保管資料の貸し出し】

計 10 件

a. 大阪府立近つ飛鳥博物館

常設展示 平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日

大県遺跡：鉄滓 6 点・韃羽口 7 点・砥石 2 点

計 15 点

b. 八尾市立歴史民俗資料館

平成 22 年度春季企画展「八尾の古代寺院を探る」

平成 22 年 4 月 22 日～6 月 25 日

山下寺跡：軒丸瓦 2 点、鳥坂寺跡：軒丸瓦 2 点・墨書土師器 1 点、原山廃  
寺：軒丸瓦 2 点

計 7 点

c. 国立歴史民俗博物館・国立民族学博物館

平成 22 年度連携展示「アジアの境界を越えて」

平成 22 年 5 月 26 日～12 月 21 日

高井田山古墳：ガラス玉 5 組、金製耳環 2 点、熨斗 1 点、神人龍虎画像鏡  
1 点、横矧板鋌留衝角付冑 1 点、鉄刀 1 点、鉄釘 4 点、鉄鋌 1 点、須恵器  
9 点

計 25 点(組)

- d. 柏原市市民歴史クラブ  
平城遷都 1300 年祭出展 平成 22 年 9 月 7 日～9 月 12 日  
智識寺・大和川関連パネル 計 7 点
- e. 堺市立みはら歴史博物館  
平成 22 年度特別展「古代に铸る－青銅器－」  
平成 22 年 10 月 6 日～12 月 18 日  
本郷遺跡：小銅鐸 1 点、铸造実験資料：銅鐸 3 点、铸型 3 組 計 7 点（組）
- f. 柏原市立国分小学校  
クラブで使用 平成 22 年 10 月 21 日～10 月 25 日  
米俵 1 点
- g. 柏原市立柏原小学校  
授業で使用 平成 22 年 10 月 27 日～11 月 5 日  
綿繰機 2 点
- h. 藤井寺市立道明寺小学校  
国語科の学習「たぬきの糸車」で使用  
平成 22 年 11 月 10 日～平成 22 年 11 月 26 日  
糸車 1 点、綿繰機 1 点 計 2 点
- i. 大阪府立近つ飛鳥博物館  
平成 22 年度冬季特別展「歴史発掘 おおさか」  
平成 23 年 1 月 6 日～3 月 18 日  
河内国分寺跡：軒丸瓦 1 点、軒平瓦 1 点、地覆石 1 点、鉤形鉄製品 1 点、  
鉄釘 1 点、銅鋌 1 点 計 6 点
- j. NPO 法人トイボックス  
「リビエール E C O フェスタ」にパネル展示  
平成 23 年 1 月 14 日～1 月 21 日  
大和川関連パネル 15 点
- (ス)【所蔵・保管資料の撮影等】 計 13 件
- a. (株) J T B パブリッシング  
単行本『新・鉄道廃線跡を歩く 4』に掲載  
写真提供：亀ノ瀬トンネル 計 2 点
- b. (株) 吉川弘文館  
『史跡で読む日本の歴史』2 に掲載  
写真提供：高井田山古墳横穴式石室 1 点
- c. 大阪歴史博物館  
特集展示「新発見！なにわの考古 2010」におけるパネル・講演会資料への

掲載

写真提供：高井田山古墳横穴式石室・床面検出後・神人龍虎画像鏡・熨斗  
計4点

d. 国立歴史民俗博物館

連携展示「アジアの境界を越えて」における展示図録・パネルへの掲載

写真転載：高井田山古墳横穴式石室 1点

e. 堺市立みはら歴史博物館

特別展「古代に铸るー青銅器ー」における図録・広報関係資料に掲載

写真提供：本郷遺跡出土小銅鐸 1点

写真転載：铸造実験資料 1点

f. (株)ポプラ社

ポプラディア情報館『郷土の人物』に掲載

写真提供：中甚兵衛肖像画（中九兵衛氏所蔵資料） 1点

g. 個人（八尾市立大正小学校教諭）

八尾市3・4年生社会科副読本『わたしたちの八尾市』に掲載

写真提供：中甚兵衛着用陣羽織（中九兵衛氏所蔵資料） 1点

h. 大阪府立近つ飛鳥博物館

特別展「歴史発掘 おおさか」における図録・パネル・広報資料への掲載

写真提供：河内国分寺跡延石と先行遺構、鳥坂寺跡回廊の礎石、金堂北側階段  
計3点

i. 大阪市立大学大学院文学研究科・岸本直文

『大阪府柏原市 安福寺の割竹形石棺』への転載

写真転載：安福寺所蔵割竹形石棺 1点

j. 個人（大阪文化財研究所）

大阪文化財研究所発行の『中崎町遺跡発掘調査報告』に掲載

写真撮影：太平寺・安堂遺跡出土古墓1・須恵器壺 計3点

k. 河出書房新社

『列島の考古学 古墳時代』に掲載

写真提供：高井田山古墳横穴式石室 1点

l. 学校法人河合塾

『日本史写真資料集』に掲載

写真転載：茶臼塚古墳出土円筒埴輪 1点

m. (株)山川出版

文部科学省検定教科書『高等学校日本史』への掲載

写真提供：智識寺塔心礎 1点



(セ)【所蔵・保管資料の調査・見学等】

14 件

a. 個人

南西尾家文書

b. 個人 (大同大学)

鉄仏

c. 個人 (近畿大学)

南西尾家文書

d. 個人 (香川県埋蔵文化財センター)

大里寺跡・山下寺跡・五十村廃寺出土軒丸瓦

e. 個人 (奈良県立橿原考古学研究所)

玉手山 7 号墳出土石製埴

f. 堺市立みはら歴史博物館

本郷遺跡出土小銅鐸、銅鐸鑄造実験資料

g. 大阪府立近つ飛鳥博物館

河内国分寺跡出土資料

h. 学生 (京都大学)

高田山古墳出土衝角付冑 X 線写真

i. 学生 (龍谷大学)

平尾山古墳群平野・大県支群出土ミニチュア炊飯具

j. 個人 7 名

庭井新田関連の柏元家文書

k. 個人 (八尾市文化財調査研究会)

唐棹、綿繰機、糸車

l. 個人 (大阪文化財研究所)

太平寺・安堂遺跡古墓 1 出土資料

m. 個人 (往生院民具供養館)

駕籠

n. 学生 (九州大学)

安福寺横穴群・玉手山東横穴群出土陶棺

(ソ)【寄贈資料】

計 10 件

a. 投網、たも、魚籠、トランジスタラジオ、棹秤、算盤

計 6 点

b. 古紙幣、古銭、外国硬貨

計 30 点

c. 楠正成湊川合戦図屏風

1 点

d. 農薬瓶、箱膳

計 2 点

- |  |        |
|--|--------|
| e. 柱時計、防空電球  | 計 2 点  |
| f. 船橋遺跡採集弥生土器・土師器・須恵器・製塩土器・土錘・土製円板・土馬・石鏃・石剣・軒丸瓦・木製品・桃核 | 計 83 点 |
| g. スキー道具   | 一式     |
| h. 茶臼  | 1 点    |
| i. 花見弁当箱、手提弁当箱、針箱、銅盥、箕                                 | 計 5 点  |
| j. スキー道具   | 一式     |

(タ)【寄託資料】 2 件

- |   |           |
|---|-----------|
| a. 国分本町・南西尾家文書（平成 23 年 3 月 31 日まで）        | 約 7,500 点 |
| b. 中家文書（平成 22 年 9 月 5 日～平成 23 年 8 月 31 日） | 約 638 点   |

(チ)【刊行物】

- a. 『群集墳から火葬墓へ』  
一部カラー40 ページ、平成 22 年 7 月発行
- b. 『柏原市立歴史資料館館報』第 22 号・2009 年度  
64 ページ、平成 22 年 9 月発行
- c. ゴンドラ第 7 号  
4 ページ、平成 22 年 9 月発行
- d. 『柏原ぶどう物語』  
カラー38 ページ、平成 23 年 3 月発行

(ツ)【市民歴史クラブ】 会員 18 名

歴史に関心のある人が集まり、資料館を拠点にクラブとして自主的に活動。平成 22 年度は、智識寺の伽藍を模型・CG・絵画で復元。その成果を平成 22 年度夏季企画展開催中にパネル展示・解説。平城遷都 1300 年祭や大阪府立近つ飛鳥博物館、サンヒル柏原などでも展示し、好評であった。

また、冬季企画展見学小学生の「なわない」体験の準備や補助、横穴公開の解説、鳥坂寺跡発掘調査などにもボランティアとして協力してもらう。

秋季企画展「大和川はどこへ」団体見学小学校数

柏原市	5校	大阪市	16校	大東市	2校
東大阪市	20校	八尾市	7校	松原市	4校
藤井寺市	1校	羽曳野市	5校	富田林市	3校
太子町	1校	堺市	19校	高石市	2校
泉大津市	1校	和泉市	4校	岸和田市	6校
貝塚市	1校				

合計 97校、 8,517名

冬季企画展「ちょっと昔の道具たち」団体見学小学校

柏原市	9校	八尾市	1校
小計	10校		830名

・冬季企画展中の大和川付替見学校

大阪市	1校	藤井寺市	2校
小計	3校		192名

合計 13校、 1,022名

(2) 横穴管理運営関係

(ア) 【史跡高井田横穴特別公開】

a. 春季 5月17日(土) 午前10時～午後3時

見学者 92人

b. 秋季 10月18日(土) 午前10時～午後3時

見学者 43人

\* 市民歴史クラブの方々が案内ボランティアとして参加・協力

(イ) 【横穴公園等案内】

a. 史跡見学会等における高井田横穴の案内

・ 5月27日(水) 婦人団体連絡協議会「柏原の歴史を知ろう」

・ 10月24日(土) 市民文化祭「大和川に沿って文化財を訪ねよう」

・ 11月6日(金) 大阪府市町村年金者連盟「河内ブロック歩こう会」

・ 3月30日(火) 樞考研博ボランティアの会「柏原の史跡を歩く」

(ウ) 【維持管理】

a. 史跡高井田横穴保存検討委員会開催

b. 史跡高井田横穴保存工事実施

c. 横穴公園内景観の維持管理(樹木等伐採)

(エ) 【柏原市文化財保護条例】

a. 柏原市文化財保護条例に基づく審議会の開催(2回)

b. 同上文化財の市指定(平成21年6月1日)

・ 平野遺跡出土弥生土器

・ 本郷遺跡出土小銅鐸

## 2 平成23年度事業計画

### (1) 歴史資料館関係

#### (ア) 【常設展示】

資料貸し出し等に伴い、少しずつ展示資料を入れ替え  
中家文書を入替えながら展示

#### (イ) 【企画展示】

##### a. 「赤馬伝説」

平成23年7月9日(土)～9月4日(日)

##### b. 「大和川の風景」

平成23年9月20日(火)～12月11日(日)

##### c. 「ちょっと昔の道具たち」

平成24年1月7日(土)～3月4日(日)

##### d. 「中家文書の世界」

平成24年3月24日(土)～6月24日(日)

#### (ウ) 【スポット展示】

「こんなモノをいただきました」

最近の寄贈資料を2ヶ月ごとに展示替え

#### (エ) 【文化財講演会】

##### a. 平成23年4月16日(土)

講師 高井利洋氏(カタシモワインフード㈱) 講演とワインの試飲会  
「柏原のワイン、ここだけの話、ここだけの味」 参加者45名

##### b. 平成23年7月24日(日)

講師 田中晋作氏(池田市立歴史民俗資料館)

講師 天野末喜氏(藤井寺市教育委員会)

##### c. 平成23年7月31日(日)

講師 宮崎泰史氏(大阪府教育委員会)

講師 野島 稔氏(四條畷市教育委員会)

#### (オ) 【市民歴史大学】

「倭の五王の時代」をテーマに4回の特別講演会を開催(文化財講座例会を兼ねる)

- a. 平成 23 年 8 月 13 日 (土)  
講師 一瀬和夫氏 (京都橘大学教授)
- b. 平成 23 年 9 月 4 日 (日)  
講師 高橋克壽氏 (花園大学准教授)
- c. 平成 24 年 1 月 14 日 (土) 予定
- d. 平成 24 年 2 月 11 日 (土) 予定

(カ)【体験教室】

- a. 「しめなわを作ろう」定員 20 名  
平成 23 年 12 月 4 日 (日)
- b. 「わらざうりを作ろう」定員 15 名  
平成 24 年 2 月 5 日 (日)

(キ)【文化財講座】

テーマ「倭の五王の時代」

募集人数 成人 60 名 受講者数 64 名

日 時 原則として毎月第 2 土曜日 年間 12 回の予定

参加費 年間 2,000 円

平成 23 年

5 月 14 日 「倭の五王の時代」(講義・安村)

6 月 11 日 高井田山古墳(講義と見学)

7 月 9 日 「赤馬伝説」(講義と展示解説 安村)

8 月 13 日 市民歴史大学Ⅰ(特別講演会)

9 月 4 日 市民歴史大学Ⅱ(特別講演会)

10 月 8 日 古市～田辺(見学会)

11 月 12 日 豊中(見学会)

12 月 10 日 御所(見学会)

平成 23 年

1 月 14 日 市民歴史大学Ⅲ(特別講演会)

2 月 11 日 市民歴史大学Ⅳ(特別講演会)

3 月 10 日 松原～美原(見学会)

3 月 24 日 「倭の五王の時代」まとめ(講義・安村)

(ク)【古文書入門講座】

テーマ「近世の国分村」

募集人数 成人 25 名 受講者数 21 名

日 時 原則として毎月第3土曜日 10回の予定  
参加費 年間 1,000 円

(ケ)【博物館実習】

平成23年8月20日(土)～28日(日)

4名程度の受け入れ予定

(コ)【調査・整理】

- a. 国分本町・南西尾家文書の調査・整理・目録作成
- b. 中家文書の調査・整理・目録作成→市指定文化財
- c. 今町・寺田家文書の調査・整理

(サ)【所蔵・保管資料の貸出等】

これまでと同様に、積極的に公開・活用を図っていく。市文化財保護条例の施行に伴い、市指定文化財については、通常の手続き以外に公開届が必要となる。

(シ)【寄贈・寄託】

広報等での呼びかけとともに、資料集の刊行やスポット展示などによって市民の関心を喚起し、寄贈・寄託資料の増加を図る。

(ス)【予定刊行物】

- |                      |             |
|----------------------|-------------|
| a. 夏季企画展図録『赤馬伝説』     | 平成23年7月刊行予定 |
| b. 『柏原市立歴史資料館館報』第23号 | 平成23年9月刊行予定 |
| c. 『ゴンドラ』第7号         | 平成23年9月刊行予定 |
| d. 『中家文書の世界』         | 平成24年3月刊行予定 |

(セ)【市民歴史クラブ】

夏季企画展に田辺廃寺の伽藍復元などで展示参加の予定。

12月に開催予定の鳥坂寺跡をめぐるシンポジウムに鳥坂寺跡の伽藍模型展示予定。

(ソ)【高井田文化教室（柏陽庵）】

平成18年度より講座を廃止し、クラブ制度を設け、クラブ登録をした団体には利用料金を半額とし、期日前の申し込みを可能としている。クラブ制度による定期的な利用者の増加を図るとともに、一般利用者の促進を図る。

(2) 横穴管理運営関係

(ア) 【史跡高井田横穴特別公開】

- a. 春季 5月15日(土) 午前10時～午後3時
- b. 秋季 10月16日(土) 午前10時～午後3時

＊市民歴史クラブの方々が案内ボランティアとして参加・協力

(イ) 【横穴公園等案内】

資料館と調整を図り、地域の歴史と自然に親しめる公園として多くの方々に見学していただけるよう努める。

(ウ) 【維持管理】

- a. 保存工事を実施した第3支群5号横穴の経過観察を適宜実施
- b. 横穴公園内景観の維持管理（樹木等伐採）

(エ) 【柏原市文化財保護条例】

- a. 柏原市文化財保護条例に基づく審議会の開催（2回）
- b. 同上文化財の市指定



### 3 施策評価結果について

施策名：文化財の保存と活用

成果指標：①文化財保護法に基づく届出の処理件数

②歴史資料館の入館者数

③文化財講演会等の聴講者数

担当課が行った評価：B 70～90%[拡大]

◎行政評価委委員会が行った評価

評点 D 30～50% [継続]

#### 評価コメント

全体的に自己評価点が高く、客観性に欠けているように思える。考古学ファンよりも、市民の方に地元の歴史に興味を持ってもらうことを優先するのであれば、歴史資料館は無料としておくことも良いと考える。しかし、市の財源が枯渇する中、入館料を徴収し、企画展開催費用の一部に充てるといった考え方もできるのではないか。また、文化財説明板設置事業や文化財講演会開催事業は普及啓発活動事業と重複しているところがあることから、事務事業の統廃合や見直しが必要であり、評価は「再構築」に近い「継続」とした。

#### 提言

1. 住民ニーズの変化や要望等にも主観的な対応ではなく、客観的に対応していると判断できるよう努力してもらいたい。
2. 「考古学ファンよりも市民に地元の歴史についてより興味を持ってもらえるようにしたい」とするなら歴史資料館は無料の方がよいと思う。そのためには、市民の興味が湧くように広報誌等で歴史資料館の展示物を月替わりで紹介していくなど、積極的に情報を伝えてもらいたい。
3. 歴史資料館の入館者数は年間 21 千人の実績があるという。今後は単に入館者数を目標にするのではなく、学芸員には一層魅力ある展示企画の開催をお願いするとともに、市の財源が枯渇している状況下において、中学生以下の者を除く一般入館者から入場料を徴収され、企画展の費用の一部とするような自己財源の確保に工夫・努力を願いたい。
4. 考古学がある市外の大学との連携を深めることはできないか。

## ◎評価結果の検討

### 意見に対する検討

担当課としては、入館者数、受講者数等、客観的数値から自己評価しており、客観性に欠けているとは考えていません。

入館料については、コスト対効果や受益者負担の観点に加え、社会教育法（昭和 24 年法律第 207 号）の理念や、この理念を受けた博物館法（昭和 26 年法律第 285 号）の規定も考慮して、広く検討していきたいと考えます。【社会教育法は、国と地方公共団体に対し、施設の設置や運営により国民が文化的教養を高められるような環境醸成に努めるべきことを規定（第 3 条）し、博物館法は、公立博物館が入館料を徴収することを原則として禁じています（第 23 条）[例外的に徴収は可能。また、本市歴史資料館のように博物館法の適用を受けない施設も徴収は可能]。】

### 提言に対する検討

1. 入館者アンケートの設問を工夫するなどの確にニーズの把握に努める等、客観性の確保に向け、よりの確に対応、努力していきたいと考えています。また、調査、研究、啓発活動など、可能な分野について、文化財行政を市民協働で推進していきたいと思います。
2. 今年度から、従前（年間数件程度）にも増して、報道機関等に対する積極的なニュース提供を行っています（12 月末現在で、提供 46 件、掲載 82 件）。広報かしわらへの掲載についても毎月実施していますが、さらに内容に検討を加える等、充実させて実施していきたいと思います。
3. 魅力ある企画展の開催については、内部での検討に加え、入館者アンケートを活用する等、広く市民の意見を聴き、今後とも努力を継続していきます。入館料については、博物館法の規定等を踏まえ、議論していくべきと考えます。そのうえで、市民の合意を得る等、一定の結論が出るまでは、現状のまま（一律無料）にしたいと思います。
4. 個々の研究者等との間では連携を図っており、今後とも具体的方策等を研究していきたいと考えています。

### ☆課題

1. 客観性の確保
2. 広報活動の充実
3. 入館料の徴収
4. 外部との連携

柏原市立歴史資料館等運営協議会委員名簿

号	氏 名	備 考
1	木 下 百合子	大阪教育大学教授
1	塚 口 義 信	堺女子短期大学名誉学長・名誉教授
1	綿 貫 友 子	大阪教育大学教授
2	岸 田 良	大阪府立柏原東高等学校校長
2	野 口 雅 昭	大阪府教育委員会文化財保護課長
2	仲 矢 明 夫	柏原市校園長会柏原市立柏原小学校校長
3	今 西 美和子	市民代表
3	奥 田 豊 子	市民代表
3	蓑 原 正	市民代表

平成24年3月 31 日まで

\*数字は設置要綱第4条1号、2号、3号委員を指す。

\*名簿掲載順は、各号委員別にアイウエオ順とした。